



マンスリー・レポート NO.52

平成 30 年 12 月 1 日

今月の話題：「驕れるものは久しからず」という言葉が去来する昨今だ。「盛者必衰の理」が続く。この日本人には馴染み深い観念は仏教に由来する日本独特の思考なのだろうか。古代ローマ帝国の盛衰記には感じられない無常観が漂う。無辺の欲望は暗黒の不安感がもたらすものではないか。それに打ち勝つ語彙は和語には多いが、仏語にはないのだろうか。人生、遊行期を迎えて、改めて学習すべき事の多きを知る。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

- ・次回拡大理事会の資料締切りは 12 月 13 日 (木) です。
- 忘年会は 12 月 21 日 (金) 18:00～ 「宮本」にて
- ・PSATS78 号でご案内した水曜サロンを 12 月 26 日 (水) 15:00～16:30 開催します。各部会交流の懇話会です、時間のご都合のつく方は是非、ご参加ください。

○次回拡大理事会：12 月 21 日 (金) 16:00～18:00

□ 建築部会：(岡本 直 記)

- ・11 月 21 日開催の建築部会の内容は以下の通りです。今年度第 5, 6 回のサーツ寺子屋を、どのようなテーマでいつ頃開催するか意見交換を行った。震災復興住宅、超高層住宅の大規模改修技術をテーマに講師依頼を進めることで、意見がまとまりました。
- ・今年度第 3 回のリフレッシュ見学会として、(仮) 永坂産業京橋ビル (設計；日建設計、施工；戸田建設) の見学を金森氏の尽力で 11/22 に実施しました。参加者は 13 名で、工事事務所の統括責任者の森田氏及び工事所長から建物概要の説明を受けた後、現場見学をした。低層階に美術館が入る複合ビルとして様々な新しい技術が導入され、文化の発信基地としての意気込みのある施設として興味深い見学となりました。

・東京都主催、サーツ共催のマンション耐震セミナーが 9/15 に開催されました。その後、セミナーに参加された方から、主に、マンション管理組合の合意形成にむけての進め方について 2 件の相談が寄せられました。

- ・耐震診断・補強設計についてサーツ一級建築士事務所として進めている案件の進捗状況が報告されました。
- ・11/5 のサーツ 20 周年記念会を終えて、これからサーツ建築部会の対応について、自由討議を行いました。話し合われたなかの可能なことから新しい取組みを進めて行きたいと考えます。

・建築学会で下記の講演会とシンポジウムが開催されます。興味深いテーマですので、ぜひ、ご参加下さい。

○第 19 回司法支援建築会議講演会「宅地地盤の沈下・傾きを巡る建築紛争の実態と対応」(11/29 13:30～17:30) ○第 5 回低炭素社会推進会議シンポジウム「SDGs の達成に向けた建築・都市の挑戦—住み続けられる低炭素型まちづくり－」(12/11 13:00～17:30)

会場はいずれも建築会館ホール)

○次回建築部会 12 月 19 日 (水) 17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

- ・救世軍月島会館 (教会と共同住宅複合施設) 木造耐火構造・総合コンサルタント (サーツ) が竣工し、11 月 20 日、現場見学会を実施しました。
- ・平成 30 年度林野庁委託事業「デベロッパー (開発者)

等のための CLT 講習会」(サーツ受託) が 11 月 16 日東京を皮切りに京都 11/27・名古屋 11/28・新潟 12/4・熊本 12/7・広島 12/10 で実施されます。本講習会は実物件見学会もセットされ、東京会場では満席の盛況でした。

○次回部会予定：12 月は休みといたします。1 月の部会開催日は追ってご連絡いたします。

□ 集合住宅部会：(小畠晴治 記)

- ・いよいよ平成最後の年末です。熟年世代の皆様、これから暮らしに明るい展望を持っていますか？先日、平成生まれ (30 歳) の若者たちの怒りを聴き、震撼したのは、「私たちの就業環境の不安定さや収入の低さの中からもぎり取られる税金を、今の高齢者はどう思っているのか！自分たち受け取れる保証のない社会保障費のために血税が使われるの憤慨の極みだ！」

この問題提起にどう応えるべきか。若年たちの挑戦をもっと応援する、困窮を助ける等々直接的な若者支援も大切であろうが、まず幅広い熟年世代自らが将来展望を持ち生き甲斐を感じる状況を獲得し範を示すことからの取組が不可欠であろう。

サーツメンバーが過去様々な立場で貢献し造った「良質な住宅ストック」を活かし、安全安心で快適、かつ低維持費で暮らせる居住環境をリファイン～レベルアップさせる流れを創ること、即ちそれは来年度から始まる『在宅医療・在宅介護の一体化』を住宅側でしっかりと受け止め築き上げる取組でもある。『在宅医療・介護の一体化』で、半端な老人ホームやサ高住は無用の長物になるという点の先取りと啓発もサーツの新たな役割になる。集合住宅部会では、団地やマンションの住民・管理組合に寄り添う取組を本格化させるべく準備中です。乞ご参加。

○次回部会予定：1 月 17 日 (木) 18:00～

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

- 1) 今年度新規受託契約済 13 件、前期からの繰越案件 5 件の内訳は先月と同じですので省略します。決算予定では、①板橋区 0 マンション (雑排水管更新工事コンサル) 及び②西東京市 (調査診断～基本設計) の 2 物件が来期へ繰越となる見通しです。2) 下半期引合 3 案件、①北区浮間 (改修工事監理)、②練馬区関町北 (建替え設計)、③町田市 (建物診断) のうち、町田市 (再来年の大規模修繕に向けた建物診断～改修設計) が受託内定しました。

○次回部会予定：1 月 17 日 (木) 18:00～

集合住宅部会との合同開催の予定です。

□ 建築技術誌 12 月号 (11 月 17 日発売)

- ・正岡智子：省エネ改修、外断熱の有効性と補助金活用
- ・岡本 直：紫雲山瑞聖寺庫裏新築工事及び大雄宝寺
- 余滴：御神籤の末吉も良き小春かな 捷三郎